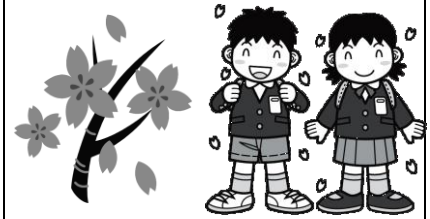


石台だより

〒177-0045 練馬区石神井台8-6-33 TEL3928-7124



平成25年4月8日 No.432

平成25年度の出発にあたって

校長 渡邊 浩一

校庭の木々にも新芽が伸び、私たちの石神井台小学校にも春の息吹が強く感じられるようになりました。お子様のご入学・ご進級、おめでとうございます。本年度は、114名の新1年生を迎え、全校児童数642名、20学級で始まりました。

昨年、京都大学：山中伸弥教授がノーベル生理学・医学賞を受賞したことに感動した人は多いと思います。

ノーベル化学賞を百年前に受賞した人がいます。マリ・キュリー博士です。博士の研究の第一歩は、「ウランウムという物質は、なぜひとりでに光るのだらう。」という小さな疑問からでした。この疑問の答えを見付け出すためにあらゆる鉱石を取り寄せ、砕き、煮詰める作業を何度も繰り返したそうです。大変な作業でしたが、「一つの答え」「一つの真実」を追い求めることに妥協しませんでした。これからの社会を担う子供たちに、たとえ小さな疑問であってもそれを大切に、その疑問の答えをあきらめることなく見いだす粘り強さや探究心をもってほしいです。そして、自分の夢や目標をもち、その実現に向けて努力し、自らの力を高めていく人になってほしいと願っています。

皆様のかげのない大切なお子様をお預かりし、本年度も全教職員が力を合わせて「豊かな人間性を身に付け、自ら学び、自ら考えるなど、生きる力」を培っていけるように教育活動を進め、「心ゆたかでたくましい子どもを育てる」ことを目指してまいります。

本校の教育目標は、**○思いやりのある子** **◎すすんで学ぶ子（本年度の重点目標）**

○さいごまでやりぬく子 **○じょうぶなからだをもった子** の四つです。

その実現に向けて、二学期制の趣旨である「学びの連続性」を活かし、児童一人一人に応じたきめ細かい指導を行います。また、皆様からいただきました平成24年度の学校評価をしっかりと受け止めて、教育内容を見直してきました。平成25年度は、さらなる教育活動の充実を図ります。特に、次のことに力を入れ、児童・保護者・地域から信頼される学校づくりを推進してまいります。

1 人権尊重の理念を正しく理解し、思いやりの心や共に生きる力をはぐくむ教育を推進します

本校の特色ある教育活動「つなごう 手と心」では、関中学校・上石神井中学校との連携教育、近隣の石神井特別支援学校や幼稚園、保育園との交流活動や高齢者福祉施設等、様々な体験活動を充実させ、思いやりの心や共に生きる力をはぐくむ教育を進め、共に生きる社会づくりの精神を培います。特に、いじめは重大な人権侵害であり、その根絶に向けさらなる指導の徹底に努めます。

2 話をよく聞き、進んで学習に取り組める児童を目指します

昨年度まで校内研究で取り組んできました国語科「話すこと・聞くこと」の学習態度を定着させ、進んで学習に取り組めるように努めます。さらに思考力・判断力・表現力等を育むために、国語科はもちろんのこと、あらゆる教科において、読み・聞き、考えて表現する指導を行い、言語活動の充実を図ります。

3 一人一人の児童が、安心して楽しい学校生活を過ごせるように努めます

児童が安心して学校生活を過ごせるように、児童理解を深め、諸問題に対しては早期に発見し、早期に解決できるように心がけます。本年度から、心のふれあい相談員とともに、スクールカウンセラーの配置が決まりました。さらに教育相談体制を充実させ、保護者と学級・学年・学校との連携をさらに深められるようにします。また、人との関わりの基本である「あいさつ運動」を推進する実施計画に工夫を重ね、学校安全安心ボランティアのさらなる充実にも努めます。

本年度も保護者の皆様、地域の皆様方とパートナーシップを確立し、連携を密にしながら、教育活動に取り組んでまいります。昨年度にもまして、保護者・地域の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。